



シリコン・ラボラトリーズ社、新製品「Si446x」ファミリを発売

EZRadioPRO トランシーバ・ファミリの最新デバイスは、最高性能と低消費を実現するサブ GHz ワイヤレス通信 IC

卓越したアナログ設計技術で、高性能アナログ・ミックスシグナル IC を設計・販売するシリコン・ラボラトリーズ社(本社: 米テキサス州オースチン、Nasdaq: SLAB)は、ワイヤレス・システムの到達範囲とバッテリー稼働時間を最大にし、業界で最も高性能で低消費を実現したサブ GHz トランシーバの新製品「Si446x」ファミリを発表しました。EZRadioPRO[®] トランシーバ・ファミリの最新デバイス「Si446x」ファミリは、卓越した RF 性能と超低消費を兼ね備えており、スマートメーター、セキュリティおよびホーム・オートメーション・システム、産業制御システム、センサ・ネットワーク、電子柵札といった広範なワイヤレス・アプリケーションに最適なソリューションです。

Si446x ファミリは現在サンプル供給が可能です。価格は 10,000 個時の単価が 1.57 米ドルから。評価キットの Si4463-915-DK および Si4461-915-DK も供給中で、価格はともに 799 米ドル(メーカー希望小売価格)です。Si446x ファミリのサンプル及び評価キットに関するお問い合わせ及びご購入は、シリコン・ラボラトリーズ Web サイトをご参照ください(www.silabs.com/pr/EZRadioPRO)。

Si446x は、先進の RF 性能によって無線到達範囲を拡張し、業界で最も厳しい狭帯域規格に準拠するだけでなく、優れたコストパフォーマンスを提供します。送信出力パワー+20dB、感度-126dBm、リンクバジェット 146dB、RX 隣接チャネル選択度 58dB というクラス最高の性能によって、ワイヤレス・アプリケーションの無線到達範囲を拡張します。また、マルチパスやフェーディングの影響を弱めるための、マルチパス/フェーディング環境で無線到達範囲を倍加する特許取得のアンテナ・ダイバーシティ・アルゴリズムを特徴としています。

119~1050MHz の連続周波数範囲をもつので、最大データ・レート 1Mbps の 4GFSK、(G) FSK、GMSK、OOK といった多岐にわたる先進の変調技術をサポート可能で、802.15.4 d/g 規格、ワイヤレス M-Bus プロトコルに準拠します。また、比類なき位相ノイズ、選択度、遮断度性能を備えており、FCC Part 90 Mask D、ARIB STD-T96/T67、ETSI EN 300 への準拠が必要な新しい狭帯域アプリケーションに対応する最適なソリューションです。Si446x は、米国の 151MHz multi-use radio service (MURS)やヨーロッパの 138 MHz および 169 MHz 帯域のような、新しい狭帯域アプリケーションに対応する拡張された周波数範囲をカバーする初めてのトランシーバです。

Si446x は電力効率が非常に高いので、低消費であることが重要なワイヤレス・アプリケーションのバッテリー稼働時間を最大限に延ばし、同じ稼働時間でもバッテリーの交換回数を減らす、もしくはバッテリー容量を小さくできるのでコストを削減できます。レジスタ保持状態でのスリープ/スタンバイ電流は 50nA を達成しており、これは競合するソリューションのスリープ・モードの 75%以下の消費です。また、TX および RX モードでも他に例のない低消費を実現しています。送信時電流のスペックは+10dBm で 17mA と低く、コインセル・バッテリーのアプリケーションに対応可能で、性

米シリコン・ラボラトリーズ社発表ニュースリリースの抄訳です。

能重視のアプリケーションに対応する+20dBmでは85mAです。受信時電流のスペックも、高性能受信モードでは13mA、低電流受信モードでは10mAと非常に低く、低電力動作においてほとんどの競合製品より優れています。

シリコン・ラボラトリーズで、組み込みミックスシグナル製品統括マネージャ兼副社長を務める Mark Thompson はこうコメントしています。「Si446xファミリは、今までにないレベルの狭帯域性能と電力効率を実現するサブ GHz ワイヤレス・テクノロジーを用いています。当社はワイヤレス・トランシーバの超低消費化という新しいマイルストーンを設定し、スリープ・モードで50nAという超低消費を達成したことで、Si446xはバッテリー駆動やグリーン・エネルギー・アプリケーションに最適なソリューションになっています。」

豊富なワイヤレス開発環境

シリコン・ラボラトリーズは、モジュラー型 [Unified Development Platform](#) (UDP/統合開発プラットフォーム) を基本にしたワイヤレス開発キットを含む、包括的な Si446x ファミリ開発環境を用意しています。EZRadioPRO デバイス用スタンドアロン評価およびソフトウェア開発プラットフォームは、基本ボードとRFテスト・カードが各2枚ずつ入ったUDPで提供されています。[Wireless Development Suite](#) (WDS/ワイヤレス開発パッケージ・ソフトウェア) は、RFに関する設計や測定の経験がほとんどなくても、高効率で頑強そしてコスト効果の高いワイヤレス・アプリケーションを迅速かつ簡単に開発設計することができるソフトウェアです。また、[EZMac](#) 組み込みメディア・アクセス制御ソフトウェアは、128ノード以下のコスト効果の高い網目状ネットワークの構築をサポートします。

シリコン・ラボラトリーズは、世界のスマートメーター市場の主要サプライヤーと戦略的関係を作り上げてきました。多くの [ワイヤレス開発パートナー](#) とともに、スマートメーター向けのリファレンス・デザインやテスト・カードを開発しており、出力パワー+30dBmまでのアプリケーションをサポート可能で、開発コストを削減しお客様の製品市場投入を促進しています。

シリコン・ラボラトリーズ社について

シリコン・ラボラトリーズ社(Silicon Laboratories Inc.、本社：米テキサス州オースチン、www.silabs.com)は、卓越したアナログ設計技術で高性能なミックスシグナル IC を幅広いアプリケーション向けに設計する、業界大手半導体メーカーです。シリコン・ラボラトリーズ社の多様な高集積製品と特許は、ミックスシグナル設計において長年にわたる経験と実績を有する業界最先端のエンジニアリング部門が開発しています。シリコン・ラボラトリーズ社は、北米、ヨーロッパ、アジアの各地に設計、エンジニアリング、マーケティング、販売、アプリケーションの拠点を置いています。会社概要・事業内容の詳細は、www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

###

米シリコン・ラボラトリーズ社発表ニュースリリースの抄訳です。

Silicon Laboratories, SiLabs 及び Silicon Laboratories ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。シリコン・ラボラトリーズは Twitter (<http://twitter.com/silabs>) 及び Facebook を活用しています(<http://www.facebook.com/siliconlabs>)。製品情報検索は、こちらをご参照ください(www.silabs.com/parametric-search)。

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ社 Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: +1-512-532-5871 E メール: dale.weisman@silabs.com

公式 Twitter アカウント <http://twitter.com/silabs>.

公式 Facebook アカウント <http://facebook.com/siliconlabs>

ミアキス・アソシエイツ 河西

TEL: 0422-47-5319 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ K.K.

TEL: 03-6717-4268(代表) www.silabs.com